

学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.166

2015.11

CONTENTS

コラム / 特集① 全国七大学総合体育大会、東海地区国立大学体育大会 / 文化祭 / トピックス
 特集② 海外留学体験報告、インターンシップ体験報告 / 教育推進部の窓 / クラブ活動 / 伝言板 / 災害対策

COLUMN

映画に出てくる資料の物質的リアリティ

副総長 木俣 元一

「ドラゴン・タトゥーの女」という映画を最近観た。贋の情報をつかまされて名誉毀損の判決を受け、務めていた雑誌社を離れた中年の雑誌記者ミカエルと、暗い過去を持つ若い女性調査員リスベットが力を合わせ、40年前に北欧の島で起こった少女失踪事件の謎を解明するという内容だ。ステイーグ・ラーソンのベストセラー小説をもとに映画化され、スウェーデン版(2009)とハリウッド版(2011)の2ヴァージョンが存在する。私が観たのは後者だ。性的にかなり過激な表現もあって、広く薦められるわけではない。ただ、私のような人文畑の人間にとっては、彼らが過去にあった事件の真相を突きとめていく過程は、研究者としての性(さが)を大いに刺激してくるところがある。

彼らの調査で、とくに重要な役割を与えられるのが、写真という媒体だ。それも、デジタル・カメラがまだ存在していない時代であるため、ネガをもとに暗室で印画紙に焼き付けられる、マテリアルな存在感を濃厚にそなえた伝統的な写真である。複数の撮影者によるアングルの異なる写真を組み合わせ、見えにくい細部を拡大し、当日行方知れずとなった少女が、その時、その場所で、何を見たのか、再構成していく。このプロセスは、私が専門としている美術史という研究分野の手法と通じるところが多々あって、たいへん興奮した。

また、ルーニー・マラー演じる超優秀な女性調査員が、大企業の資料室に閉じ籠もって、長年蓄積された膨大な資料の山から、連続殺人に関わる事実を突きとめていくあたりも、ヨーロッパが中世以来成熟させてきたアーカイヴや図書館に関わる文化のずっしりした手ごたえに親しんだ経験のある者は、説得力を感じずにはいられない。さらに、事件の謎に接近する糸口となったのが、電話番号と思われていた数字が、実は旧約聖書『レビ記』の章と節を示していることに記者が偶然気づいたことである点も、キリスト教図像学を専攻する私にとって、堪えられない。こんな萌え方をするのは、私だけだろうか。

女性調査員は、最新の電子機器を駆使した情報収集能力も、ハッカーとしての裏技も含めて、抜きんでいる。(研究費が潤沢にあるという仮定で)彼女を研究助手として雇用できたらどんなにいいだろうとも思ったが、自分で調べものをする喜びを手放すのも惜しいし、何より、私の能力では彼女を使いこなせないに決まっているので、すぐに諦めることにした次第である。

特集① 全国七大学総合体育大会

第60代名古屋大学体育会委員長 総評

今年の第54回全国七大学総合体育大会は東北大学主管で行われ、9月26日に無事閉会式を終えることができました。

昨今のスポーツ観戦ブームに乗っかるように、今年の七大学戦は例年以上に盛り上がっていたように思います。

ところが、われらが名古屋大学はというと、序盤こそ上位に食い込んでいたものの、多くの競技が開催される7月ごろからだんだんと順位を落としていき、8月以降は6位の座から動くことなく終わってしまいました。しかし、全ての競技で選手の方々には全力を出し切って戦っていただいと聞いております。

試合や交流会などでは各大学の選手同士が友人となり、有意義な大会にすることができたことと思います。このように七大学戦で全国に行き、全国に友人を作ることができるのも七大学戦の大きな魅力であり、醍醐味であるといえるでしょう。

次回の大会は東京大学主管で行われます。名大が優勝するためには全競技が一つでも上の順位に行くことが必要だと思います。そのためには、毎年下位に終わってしまう運動部の基礎的な能力を向上し、体育会全体の底上げをすることが必要であると考えます。特に、今年は1位になった競技が大変少なかった点も改善すべきといえるでしょう。これまでも色々な取り組みを行ってききましたが、今後も取り組みを続け来年の大会こそは総合優勝できるように尽力してまいります。みなさん応援よろしくお願いします。

七大学戦は1962年に第1回大会が行われてから「学生主体の運営」を守り現在まで引き継がれて今年で第54回大会を迎えました。これからも途切れることなく七大学戦を運営し続けられるように、また、一段と皆様に愛される七大学戦となるように1年間努力してまいります。

最後になりますが、主管校である東北大学体育会のみなさまをはじめとする七大学戦を支えてくださる関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

第60代名古屋大学体育会委員長 吉川 雄登

◆◆◆◆◆ 第54回全国七大学総合体育大会成績表 ◆◆◆◆◆

競技種目	北海道大学		東北大学		東京大学		名古屋大学		京都大学(注幹校)		大阪大学		九州大学		
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
アイスホッケー	1位	10	4位	4	2位	8	3位	6	6位	2	5位	3	7位	1	
スキー	4位	4	1位	10	2位	8	3位	6	7位	1	5位	3	6位	2	
航空	5位	3	4位	4	1位	10	2位	8	3位	6	7位	1	6位	2	
馬術	5位	2	1位	8	4位	3	3位	4	2位	6	該当なし		6位	1	
柔道	2位	8	1位	10	5位	3	6位	1.5	3位	5	3位	5	6位	1.5	
バスケットボール	男子	5位	3	2位	8	6位	2	4位	4	7位	1	1位	10	3位	6
	女子	3位	6	6位	2	5位	3	7位	1	1位	10	2位	8	4位	4
ヨット	6位	1	2位	6	4位	3	該当なし		3位	4	5位	2	1位	8	
硬式テニス	男子	7位	1	3位	6	1位	10	2位	8	4位	4	5位	3	6位	2
	女子	3位	4	4位	3	6位	1	2位	6	5位	2	1位	8	該当なし	
少林寺拳法	6位	2	4位	4	1位	10	7位	1	3位	6	2位	8	5位	3	
競泳	男子	3位	6	5位	3	2位	8	6位	2	1位	10	4位	4	7位	1
	女子	3位	6	7位	1	1位	10	5位	3	4位	4	2位	8	6位	2
空手道	男子	4位	4	1位	10	6位	2	5位	3	2位	7	2位	7	7位	1
	女子	1位	10	5位	3	6位	2	7位	1	2位	8	3位	6	4位	4
ラクロス	女子	3位	6	1位	10	6位	2	5位	3	2位	8	4位	4	7位	1
剣道	男子	6位	2	1位	10	2位	8	7位	1	3位	6	5位	3	4位	4
	女子	7位	1	2位	8	5位	3	4位	4	1位	10	6位	2	3位	6
陸上競技	男子	6位	2	4位	4	2位	8	5位	3	1位	10	3位	6	7位	1
	女子	3位	6	4位	4	7位	1	2位	8	6位	2	1位	10	5位	3
バレーボール	男子	2位	8	1位	10	6位	2	4位	4	5位	3	3位	6	7位	1
	女子	4位	4	2位	8	3位	6	1位	10	6位	2	5位	3	7位	1
準硬式野球	5位	3	1位	10	7位	1	6位	2	3位	6	2位	8	4位	4	
バドミントン	男子	4位	4	5位	3	6位	2	7位	1	2位	8	1位	10	3位	6
	女子	1位	10	2位	8	7位	1	6位	2	5位	3	3位	6	4位	4
硬式野球	4位	4	2位	8	1位	10	7位	1	5位	3	6位	2	3位	6	
フェンシング	該当なし		1位	6	2位	4	該当なし		3位	3	4位	2	5位	1	
ハンドボール	5位	3	6位	2	1位	10	4位	4	3位	6	2位	8	7位	1	
ゴルフ	6位	2	4位	4	5位	3	2位	8	1位	10	7位	1	3位	6	
相撲	承認団体	1位	6	2位	4	3位	3	4位	2	5位	1	該当なし			
弓道	男子	2位	8	3位	6	6位	2	7位	1	4位	4	1位	10	5位	3
	女子	2位	8	6位	2	4位	4	不参加		3位	6	1位	10	5位	3
水球	該当なし		承認団体		1位	6	4位	2	5位	1	2位	4	3位	3	
ソフトテニス	男子	5位	3	1位	10	6位	2	4位	4	3位	6	7位	1	2位	8
	女子	3位	3	5位	8	該当なし		1位	6	該当なし		4位	2	2位	4
アーチェリー	6位	2	2位	10	3位	6	7位	1	4位	4	1位	10	5位	3	
ラクロス	男子	4位	4	3位	6	1位	10	5位	3	2位	8	不参加		不参加	
ソフトボール	雨天中止(北海道大学は承認団体のため、それ以外に1点を加点)														
体操	4位	4	2位	8	5位	3	1位	10	7位	1	3位	6	6位	2	
自動車	2位	8	3位	6	1位	10	5位	3	7位	1	6位	2	4位	4	
卓球	男子	4位	3	該当なし		2位	6	6位	1	3位	4	1位	8	5位	2
	女子	6位	1	該当なし		3位	4	2位	6	5位	2	1位	8	4位	3
総合得点	169		231		202		146.5		196		210		119.5		
総合順位	5位		1位		3位		6位		4位		2位		7位		

- 1位 東北大学 231 pt
- 2位 大阪大学 210 pt
- 3位 東京大学 202 pt
- 4位 京都大学 196 pt
- 5位 北海道大学 169 pt
- 6位 名古屋大学 146.5 pt
- 7位 九州大学 119.5 pt



参考
 ・「不参加」は、該当大学に体育会所属の運動部はあるが参加しなかった場合をいい、0点となるが該当団体数には含める。
 ・「該当なし」は、該当大学に体育会所属の運動部がない場合をいい、該当団体数に含めない。
 ・「承認団体」は、大会規約により特に参加が認められた該当大学の体育会に所属していない団体をいい、該当団体数に含めず、順位及び得点はつかない。
 ・該当団体数に応じて順位と得点は異なる。該当団体数 7 の場合：(左から順に) 1位 2位 ... 108.64.3.21 該当団体数 6 の場合：8.6.4.3.2.1 該当団体数 5 の場合：6.4.3.2.1 該当団体数 4 の場合：4.3.2.1

特集① 東海地区国立大学体育大会

第64回東海地区国立大学体育大会 -男子3位、女子4位-

第64回東海地区国立大学体育大会(東国体)が、5月から7月の土・日曜日に開催されました。本大会は、東海地区(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県)の8つの国立大学が運営している伝統ある体育大会で、参加大学が輪番で複数の競技の運営を担当する分散開催方式を採用しています。

今年度は名古屋工業大学が幹事大学となり、男子20種目、女子16種目が実施され、出場した選手達は、東海地区の国立大学ナンバーワンの座をかけて全力でプレーし、梅雨空を吹き飛ばすような熱戦が繰り広げられました。総合成績では、本学は男子が3位入賞、女子が4位という結果に終わりました。



◆◆◆◆◆ 第62回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧 ◆◆◆◆◆

競技種目	大学名	名工大		豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		備考
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	
男子	1 陸上競技	6位	3.0	8位	1.0	4位	5.0	7位	2.0	1位	10.0	2位	8.0	3位	6.0	5位	4.0	
	2 水泳	6位	3.0	8位	1.0	4位	5.0	7位	2.0	5位	4.0	3位	6.0	1位	10.0	2位	8.0	
	3 硬式野球																	1日目オープン競技、2日目雨天中止
	4 準硬式野球	5位	2.5	3位	5.5	5位	2.5	2位	8.0	1位	10.0	3位	5.5	5位	2.5	5位	2.5	3位、4位区別なし、5位以下順位なし
	5 硬式テニス	2位	6.0	4位	4.0	1位	8.0	7位	1.0	5位	3.0	3位	5.0			6位	2.0	
	6 ソフトテニス	5位	4.0	6位	3.0	4位	5.0	8位	1.0	1位	10.0	3位	6.0	7位	2.0	2位	8.0	
	7 バスケットボール	1位	8.0	4位	4.0	6位	2.0			5位	3.0	3位	5.0	-	0.0	2位	6.0	名大不参加(委員会後)
	8 バレーボール	6位	2.0	7位	1.0	3位	5.0			1位	8.0	5位	3.0	4位	4.0	2位	6.0	
	9 卓球	6位	2.0	-	0.0	5位	3.0			4位	4.0	1位	8.0	3位	5.0	2位	6.0	豊技大不参加(委員会後)
	10 バドミントン	6位	3.0	4位	5.0	1位	10.0	8位	1.0	2位	8.0	5位	4.0	7位	2.0	3位	6.0	
	11 サッカー	6位	3.0	7位	2.0	5位	4.0	2位	8.0	3位	6.0	4位	5.0	1位	10.0	-	0.0	岐阜大不参加(委員会後)
	12 ハンドボール	4位	3.0			5位	2.0			2位	5.0	6位	1.0	3位	4.0	1位	6.0	
	13 柔道	-	0.0	5位	3.0	3位	5.0			4位	4.0	-	0.0	2位	6.0	1位	8.0	名工大、三重大不参加(委員会後)
	14 剣道	6位	3.0	8位	1.0	4位	5.0	5位	4.0	2位	8.0	7位	2.0	3位	6.0	1位	10.0	
	15 空手道	-	0.0	-	0.0	2位	8.0	6位	3.0	3位	6.0	4位	5.0	1位	10.0	5位	4.0	名工大、豊技大不参加(委員会後)
	16 弓道	5位	3.0	7位	1.0	2位	6.0	3位	5.0			6位	2.0	1位	8.0	4位	4.0	
	17 体操	5位	2.0			3位	4.0			4位	3.0	-	0.0	2位	5.0	1位	6.0	三重大不参加(委員会後)
	18 馬術	3位	4.0			4位	2.0			2位	5.0	1位	6.0	4位	2.0	4位	2.0	4位以下順位なし
	19 アーチェリー					4位	2.0			2位	4.0	3位	3.0	1位	5.0	5位	1.0	
20 少林寺拳法					1位	4.0			4位	1.0	2位	3.0			3位	2.0		
合計得点		51.5		31.5		87.5		35.0		102.0		77.5		87.5		91.5		
男子順位		6位		8位		3位		7位		1位		5位		3位		2位		

競技種目	大学名	名工大		豊技大		静岡大		浜医大		愛教大		三重大		名古屋大		岐阜大		備考	
		順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点		
女子	1 陸上競技	-	0.0			2位	6.0	6位	2.0	1位	8.0	4位	4.0	3位	5.0	5位	3.0	名工大不参加(委員会後)	
	2 水泳	7位	1.0			4位	4.0	5位	3.0	1位	8.0	6位	2.0	3位	5.0	2位	6.0		
	5 硬式テニス					1位	5.0	3位	3.0	2位	4.0	4位	2.0			5位	1.0		
	6 ソフトテニス	4位	4.0			2位	6.0	7位	1.0	6位	2.0	3位	5.0	1位	8.0	5位	3.0		
	7 バスケットボール					1位	5.0			2位	4.0	4位	2.0	-	0.0	3位	3.0	名大不参加(委員会後)	
	8 バレーボール	5位	1.0							1位	5.0	3位	3.0	4位	2.0	2位	4.0		
	9 卓球	6位	1.0			3位	4.0			4位	3.0	5位	2.0	2位	5.0	1位	6.0		
	10 バドミントン	5位	3.0			4位	4.0	7位	1.0	3位	5.0	1位	8.0	6位	2.0	2位	6.0		
	12 ハンドボール																	オープン競技	
	13 柔道			-	0.0	2位	4.0			-	0.0			1位	5.0	3位	3.0	豊技大、愛教大不参加(委員会後)	
	14 剣道	-	0.0			4位	4.0	5位	3.0	6位	2.0	2位	6.0	3位	5.0	1位	8.0	名工大不参加(委員会後)	
	15 空手道					4位	3.0	1位	6.0	6位	1.0	2位	5.0	5位	2.0	3位	4.0		
	16 弓道	5位	3.0	7位	1.0	6位	2.0	2位	6.0			3位	5.0	4位	4.0	1位	8.0		
	17 体操					3位	2.0			2位	3.0			-	0.0	1位	4.0	名大不参加(委員会後)	
	19 アーチェリー					3位	2.0			1位	4.0			4位	1.0	2位	3.0		
	20 少林寺拳法																	オープン競技、団体戦成立せず	
	合計得点		13.0		1.0		51.0		25.0		49.0		44.0		44.0		62.0		
	女子順位		7位		8位		2位		6位		3位		4位		4位		1位		

※男子の体操競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため6大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※男子の少林寺拳法競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため5大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子の硬式テニス競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため7大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子のバレーボール競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため6大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。 ※女子のハンドボール競技については、第2回運営委員会後に1大学が辞退したため、オープン競技とはせず、4大学が参加したものと順位(得点)付けを行った。

文化祭

第60回東海地区国立大学文化祭

本年度は本学が当番校となり、11月7日(土)・8日(日)に、豊田講堂ホール等にて開催されました。参加団体は本学の美術部門3団体、音楽部門7団体、演劇部門1団体の計11団体のほか、以下のとおり各大学から参加があり、日頃の活動の成果発表の場となりました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 第60回東海地区国立大学文化祭プログラム ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

【演劇部門】

会場：豊田講堂シンポジオンホール

開催日	上映時間	大学名	サークル名
11月7日(土)	10:30~11:30	名古屋大学	劇団新生
	12:00~13:00	静岡大学	演劇部
	13:45~14:45	豊橋技術科学大学	総合文化部(演劇部門)
	15:15~15:45	静岡大学	ダンス部
	16:00~16:30	豊橋技術科学大学	ダンスサークル gille workers
17:00~18:00	愛知教育大学	ミュージカルサークル ミュリム	

【美術部門】

会場：豊田講堂アトリウム等

展示日時：11月7日(土) 10:00~19:00
11月8日(日) 10:00~15:00

開催日	部門	大学名	サークル名
10月18日(土)	絵画	岐阜大学	美術部
		静岡大学	美術部(静岡)
		豊橋技術科学大学	総合文化部(美術部門)
		三重大学	美術部
		名古屋大学	水彩部
10月19日(日)	写真	名古屋工業大学	美術部
		岐阜大学	写真研究会
10月19日(日)	手芸	豊橋技術科学大学	総合文化部(写真部門)
		名古屋大学	写真部
		愛知教育大学	手芸サークル CRAFT

【音楽部門】

会場：豊田講堂ホール

開催日	演奏時間	大学名	サークル名
11月7日(土)	10:00~10:30	名古屋大学	芸音楽学部
	10:30~11:00	岐阜大学	フォーク村
	11:00~11:30	愛知教育大学	フォークソング部
	11:30~12:00	豊橋技術科学大学	軽音楽部 D7sus4
	12:30~13:00	名古屋工業大学	P M C 祭 ん
	13:00~13:30	名古屋大学	フォークソング同好会
	13:30~14:00	名古屋工業大学	J A Z Z 研究会
	14:00~14:30	豊橋技術科学大学	第一軽音楽部 A.F.Q
	14:30~15:00	名古屋大学	ジャズ研究会
11月8日(日)	10:30~11:00	名古屋大学	J P - a c t
	11:00~11:30	愛知教育大学	アカベラサークル Premier
	11:30~12:00	豊橋技術科学大学	アカベラサークル J.U.S.T.
	12:00~12:30	三重大学	P i o n e e r
	13:00~13:30	三重大学	邦楽部
	13:30~14:00	愛知教育大学	オカリナサークル TOTORO
	14:00~14:30	名古屋大学	フォルクローレ同好会
	14:30~15:00	名古屋工業大学	吹奏楽団
	15:00~15:30	名古屋工業大学	ギターアンサンブル部
15:30~16:00	愛知教育大学	混声合唱団	
16:00~16:30	名古屋大学	混声合唱団 コール・グランツェ	



トピックス

『就活サポーター』始まる - 頼りになる先輩が就職活動を支援します -

就活サポーターの活動とは、就職活動を終え希望の進路を獲得した先輩が、これから就職活動を始める後輩の支援をする活動です。苦労して内定を得た貴重な体験をもとに、毎年、この季節から自分たちの卒業直前まで、就職活動生の迷いや悩みにこたえながら、効果的な情報収集のしかたなどのアドバイスを通じて、就職活動を応援します。

就活サポーターは男性・女性、文系・理系、学部生・大学院生、企業内定者・公務員や教員内定者など様々です。気軽に訪れているいろいろな質問をすることで自分らしい進路をつかんでください。活動の詳細については **Facebook** 又は **Twitter** からチェックできます。

平成 26 年度の活動

- 活動場所：教育推進部学生支援課就職支援室（工学部7号館B棟）
- 活動内容：個別に相談を受け付けています。
希望の方は、下記の連絡先または就職支援室窓口にお問い合わせください。
連絡先：syusapo2017@gmail.com

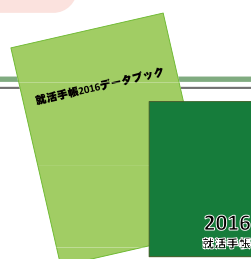
※最新のイベント等は下記の Facebook、Twitter ページにてご確認ください。

【Facebook】名大就活サポーター - 就サポ 2017 【Twitter】@syusapo2017

必携『就活手帳2016』及び『就活手帳2016データブック』

就職支援室

学部3年生、博士課程前期課程1年生向けに『就活手帳2016』及び『同2016データブック』を発行しました。名古屋大学の就職活動支援や、就職活動の進め方、2015年3月に卒業・修了した先輩の就職先に関する資料など、ためになる情報が掲載されています。就職支援室及び所属学部・研究科の教務担当係で配布中です。ガイダンス等の情報も載っていますので、是非入手して就職活動に役立ててください。



教育推進部学生支援課

就職業務について

本学では、就職希望者に対して様々なキャリアサポートガイダンスやセミナーを開催しています。就職活動に対するレクチャーを受ける絶好の機会ですので、ぜひ参加して下さい。

開催予定は学内の掲示板やホームページ、メールマガジンなどで、日程や内容を確認して下さい。イベント参加予約は、名古屋大学ポータル「就職支援タブ」または就職支援室にて受け付けています。

なお、本学学生生活委員会及び就職支援担当グループの指導・助言の下に、教育推進部学生支援課及び各学部・研究科に就職担当者を置き、皆さんの就職活動が円滑に進められるように、就職情報の収集、求人情報の提供、卒業・修了者の就職先の把握など、就職指導の任に当たっていますので、お気軽にご相談ください。

また、求人票や企業選択のための資料は、下記の場所で閲覧できます。



大学内には悩みや疑問を一緒に解決できる場所もあります。就職関係や進路について、何かヒントが欲しい時には是非上記の部局にお尋ねください。

学部・研究科等	係等	内線番号	就職資料設置場所
教育推進部学生支援課	就職支援室	2176	学生支援課内就職支援室（工学部7号館B棟）
文学部	文系教務課教務グループ（文）	2206	文系総合館1階及び講義棟男子トイレ横掲示板
教育学部	文系教務課教務グループ（教育）	2606	文系総合館1階・文系教務課（共通業務グループ）
法学部	文系教務課教務グループ（法）	2317	
経済学部	文系教務課教務グループ（経済）	2357	
国際開発研究科	文系教務課教務グループ（国際開発）	4957	
国際言語文化研究科	文系教務課教務グループ（国際言語）	4881	
情報文化学部	教務学生係	4823	SIS インフォメーションコーナー
理学部・理学研究科・多元数理科学研究科	教務学生係	2808	各学科事務室及び教務学生係
工学部	教務課学生支援係	3599	各学科・専攻事務室及び教務課就職資料コーナー
農学部	教務学生係	4010	農学部講義棟2階教務学生係ロビー
環境学研究科	大学院係	4272	就職資料コーナー（環境総合館3階ラウンジ）
情報科学研究科	大学院係	4721	SIS インフォメーションコーナー
医学部（保健学科）	教務学生係	1518	教務学生係
医学系研究科	大学院係	2431	学務課大学院係（就職資料コーナー）
創薬科学研究科	創薬科学研究科事務室（教務担当）	6775	創薬科学研究館 1F 情報コーナー
国際教育交流センター	キャリア支援部門	6768	国際教育交流センター（国際棟）107号室

特集② 海外留学体験報告

ウプサラ大学

農学部3年 木下 悟

なぜスウェーデンなのか。

「スウェーデンでは何語を話すの?」「え、スイスに留学行くの?」「ムーミンの国? (それはフィンランド)」と、よく聞かれ、スウェーデンはあまりよく知られてない国だという印象があります。しかし、ノーベル賞授賞式の国であり、住んでいる人の幸福度も高いということで、「穴場感がある」ということが最初にスウェーデン留学に興味を持ったきっかけでした。さらに、自分の専門は当然、幅広い分野の授業を英語で受けられることもあり、非英語圏で英語で行われる勉強に興味があったこともありスウェーデンのウプサラ大学に留学を決めました。

留学生活での勉強

留学先での勉強について感じたことは、周りの留学生と比べ、特に教養や時事に関して知識不足だったことです。地理的なこと、宗教、世界中で起こっていること、自国の文化や習慣のことも、とにかく色々なことが知識不足でした。留学において英語がよく問題だと思われがちですが、僕の場合は話す内容や知識が不足だったために英語というよりも話す内容に苦しんでいました。暮らしているうちに情報をネットで調べたり、人と話をして教えてもらったりし、半年間もすると知識もたくさん増え、喋る機会も増え、結果的に英語が上達した気がします。

「fika」文化

留学先でいいなと思ったことはスウェーデンのfikaと呼ばれる休憩の文化です。コーヒーや紅茶を飲み、お菓子を食べて、カフェで友達とゆったりするといったものなのですが、勉強や仕事などにもよく適応される考え方です。1日の仕事にも会社のメンバーと朝fika、昼後fika、おやつfika、仕事後fikaと1日に4回くらい休憩をとる会社も少なく、インターン生をしていた会社のおじいちゃんに、適当な時間になると、「コーヒーを作ったから休憩部屋に来るように」と、半強制的に連れていかれたこともしばしば。会社の中でコミュニケーションを多くとる利点は分かるのですが、こんなに休んでいて良いのかと思う時もありました。しかし、そのおじいちゃんに「適度に休まないで疲れちゃって頑張れないでしょう」と言われ、これがスウェーデン式の「しっかり働く」ということなのだと知って、休むことの大切さを実感しました。このような違う文化の考えを自分の考えに取り入れることができたのは留学のおかげだと思います。

留学を迷っているみなさんへ

生活への不安や将来への不安などで、留学へ行くかどうか迷っている人たちに伝えたいことは、とにかく行ってみることが大事だということです。行ってみれば、何かしら自分オリジナルの留学に対する結論が出せるし、留学の大変だった経験や楽しかった経験は人と話すネタにもなります。また、一年間や半年間、慣れた日本の生活を離れることで自分の将来についても考えるいいチャンスになると思います。僕の場合、スウェーデンの文化や考え方に影響をたくさん受け、将来のことは焦らずにゆっくりと決めていこうと決意し、勉強をしっかりしていれば授業への参加ができたということが自分への自信になり、専門の授業をもっと極めたいとも思いました。留学は経済的な問題もありますが、自分への投資だと長い目で見ることや大学の交換留学や奨学金の制度をしっかり調べて利用することで少し楽になります。また留学へのモチベーションを保つために、僕は日本にいる時から留学への刺激をくれるような環境に自分を置いて、留学経験のある先輩や国際教育交流センターの先生方の話を聞いたり、相談したりしていました。僕もそんなふうにご利用者から留学に行きたい人々へのサポートもしたいと思うので、ぜひ、お声をかけてください。



特集② インターンシップ体験報告

文部科学省でのインターンシップを終えて

法学部2年 鈴木悠平

私は、文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室で、インターンシップを行いました。私の文部科学省でのインターンシップ期間内において達成すべき目標は、高等教育に関する課題を設定し、課題に関するデータを収集し、そして政策立案のプレゼンテーションを行うことでした。私は、日本の文系学生の大学院修士課程進学率上昇のための政策立案というテーマでプレゼンテーションを行いました。政策立案のプレゼンテーションに向けた一連の準備を通じて、政策立案をするために必要なデータの集め方、集めたデータを基に問題提起から解決策の提示までを論理的に組み立てる方法を学びました。特に、政策立案をする際、根拠のデータを示すことは非常に重要な観点であるということを知りました。また、行政官として仕事をするためには、個別の利益を尊重することはもちろん大切であるが、その政策を実施することによって社会にどのような影響が結果をもたらすのかということにまで目を向けなければならないという話を職員の方から伺いました。国家公務員は広い視野を持って仕事をする必要があるのだと思いました。

インターンシップ期間中は、政策立案のプレゼンテーション以外にも様々な体験をさせていただきました。特に大きく印象に残っているのは、様々なテーマに関する会議を傍聴させていただいたことです。今回のインターンシップで傍聴させていただいた会議は、新たな高等教育機関の制度化や、高大接続改革など、日本の教育制度を大きく変えることになるものばかりでした。会議では、有識者によって新たな政策についての議論が深められていく過程をその場で見ることができました。会議に委員として呼ばれている有識者の方々は、政策をより良いものにするために有益な意見を提示してくれると同時に、各利益団体の代表として参加している人々でもあり、会議は様々な利益が交錯する場であるということに驚きました。

高等教育局が扱っている業務は、大学や大学院に関わるものが多く、私たち大学生に直結する内容でした。にもかかわらず、高等教育において具体的にどのような改革が行われようとしているのかを私はあまり知らずにいました。今回のインターンシップで、日本の教育制度が大きな転換点を迎えていることを知りました。今後、日本の教育がどのような変化をしていくのかを引き続き確認していこうと思います。



教育推進部の窓

ごみの全学一元回収・処理

環境安全衛生管理室

本学では平成12年4月から「ごみの全学一元回収・処理」を実施しています。その中で、現在一般廃棄物（ごみ）を22項目に分類し、分別回収・処理を行い、学内から排出される一般廃棄物（ごみ）の減量化・再資源化に取り組んでいます。

また、平成12年10月1日から、これまでの「古紙・紙ごみ再資源化」をさらに一歩進め、全ての古紙・紙ごみについて全学一元回収を行い、再資源化を図っています。これにより名古屋大学から排出されるコピー用紙・シュレッダーごみ等の古紙類については、学内リサイクル古紙としてトイレトペーパー等に資源化処理されます。

ゴミの減量化、分別回収・処理を行うことは、事業所としての大学の社会的責任であり、また循環型社会形成への意識改革、教育研究における安全性の確保、地域社会の環境保全、環境教育の具体的実践とも関連します。ご理解の上、ごみ減量化と、キャンパス環境の美化にご協力をお願いします。

分別回収にご協力を！

ごみの分類

1. 可燃ごみ
2. 不燃ごみ
3. かん
4. びん
5. ペットボトル
6. 牛乳パック
7. 発泡スチロール
8. 食器トレイ (発泡スチロール製)
9. 新聞紙
10. 広告・チラシ類
11. コンピュータ用紙
12. 段ボール箱
13. ファイル類
14. 雑誌・書籍
15. コピー用紙
16. 機密書類
17. シュレッダーごみ
18. 紙片・葉書・封筒・ノート類
19. 蛍光灯
20. 乾電池
21. 粗大ごみ
22. 厨芥ごみ

名古屋大学ごみ減量化宣言

名古屋大学の構成員は、教育研究活動の結果排出される一般廃棄物（ごみ）の発生を抑制（reduce）するとともに、分別回収を行い、その再利用（reuse）、再資源化（recycle）に努め、廃棄物の資源化、減量化を促進することは大学としての社会的責任であることを自覚し、全学一元化方式による分別回収・処理を推進する。

（「名古屋大学一般廃棄物（ごみ）回収・処理のためのガイドライン」より抄録）

● 一般廃棄物（ごみ）の分別と回収方法

- 1) 名古屋大学では、一般廃棄物（ごみ）を左のように22項目に分類し、分別回収を行います。
- 2) 学内共通部分から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは学内共通ごみ回収容器による回収とします。
- 3) 研究室など屋内から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、かん、びん、ペットボトルは指定ごみ袋回収とします。
- 4) 学内共通ごみ回収容器（屋外及び屋内）からのごみは環境指導員が回収しますので、回収容器の種類に従って分別してください。
- 5) かん、びん、ペットボトル、牛乳パックは生協にも分別回収容器が設置されていますので、利用してください。
- 6) 古紙も10種類に分けて、分別回収を行います。
- 7) 蛍光灯、乾電池は、それぞれ集中分別回収のためコンテナとドラム缶を設置しています。

● ごみ袋の種類と回収

- 1) ごみ袋は、次の5種類の名古屋大学指定ごみ袋とします。
(1) 可燃ごみ [レモンイエロー（赤色文字）袋]、(2) 不燃ごみ [レモンイエロー（緑色文字）袋]、(3) かん [透明袋]、(4) びん [透明袋]、(5) ペットボトル [透明袋]
- 2) ごみ袋は学内指定集積場において指定日時の即日回収となります。
- 3) ごみ袋には排出責任者が分かるように、必要事項を必ず記入してください。

● 環境指導員（ごみパトロール隊）の巡回指導

学内に環境指導員室を設置し、ごみの分別回収についての巡回指導を行います。

● 一般廃棄物（ごみ）についての相談

環境指導員室 …… 内線 4530（外線 052）789 - 4530）



教育推進部の窓

ハラスメントのないキャンパスにするために

心のつぶやきを
私たちに
聞かせてください。

「ハラスメント」は多くの場合NO!と言えない状況で起こります。
つらい思いをしているあなたは、決して悪くない。
もしひとりで悩んでいるのなら、私たちに聞かせてください。
専門カウンセラーが今後の対策について一緒に考えます。
もし今現在、問題に直面していなかったとしても「ハラスメント」を正しく知って理解してください。
大学生活を豊かなものにするために、大切なことです。

セクシュアル・ハラスメント

【定義】

性的な言動により相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。
セクシュアル・ハラスメントに当たるかどうかは、相手が不快に思うかどうか
重要視されます。

- たとえば・・・
- ある研究室では、いつも数人の学生が集まり、大声で卑猥な話をしている。
他の学生はこのようなことを聞かされるのが嫌で、研究室を利用する時はいつも苦痛に感じている。
- 先輩の告白を断ったが、先輩から執拗にメールや電話の連絡があり、困っている。
- 2人で飲みに行こうと誘われたが、断ると、翌日から相手の態度が豹変した。

アカデミック・ハラスメント

【定義】

教育、または研究上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。アカデミック・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の主観的な意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

- たとえば・・・
- 教員が指導の際に、学生の能力や人格を否定するような発言を繰り返したり、長時間にわたって威圧的な説教をする。
- 研究室に早朝から深夜までいることや、泊まりでの実験を強制し、休日を一切とらせない。
- 「論文を通さない」「卒業させない」と毎日のように学生に言い、学生がストレスで体調を崩してしまった。



【定義】

職務遂行上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えることをいいます。パワー・ハラスメントに当たるかどうかは、行為者の主観的な意図に関わらず、客観的な判断が重要視されます。

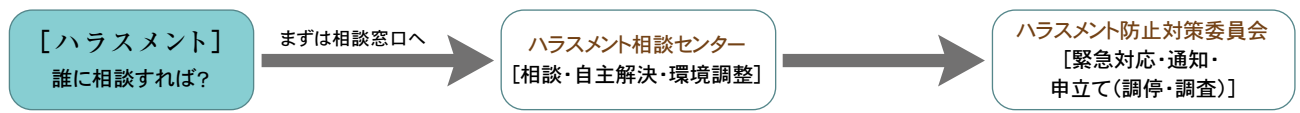
- たとえば・・・
 - 多数の者がいるところで罵倒する。
 - 意図的に必要な情報を与えない。
 - 不正・違法行為を強要する。

このように、権限を利用した不適切な言動により相手の意欲を低下させたり、環境を悪化させることはハラスメントに該当すると考えられます。

✿ ハラスメントをなくすために

ハラスメントを受けてしまったら	ハラスメントを受けている人から相談を受けたら	加害者にならないために
<ul style="list-style-type: none"> ●不快であるという意思表示をしましょう。 ●その場から離れましょう。 ●上に述べたような行為ができなかったとしても、不快な気持ちは大切にしましょう。そして、心の中にため込まずに書き出してみてください（記録は迅速な解決につながります）。 ●信頼できる人に相談してください（友人、教員など）。 ●相談センターを利用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●話をよく聞いてあげてください。 ●相談センターに行くことを勧めてください。 ●相談センターを利用してください（第3者からの相談も受け付けています）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の意思を尊重し、相手が不快に感じる言動は繰り返さないようにしましょう。 ●自分は気に留めないようなことでも、人によって受け取り方は異なります。自分の持つ力や優位な立場にいるということを意識しましょう。 ●感じた事を率直に言い合える良好な関係・環境をつくることを心がけましょう。 ●自分の言動は、自分や家族がもし同じことをされても平気か、また、自分の家族かそばにいても同じことができるか考えてみましょう。

✿ 相談の流れ



- 面接**
- 専門の知識を持った相談員と一緒に解決方法を考えます。
 - 相談員には守秘義務があります。安心してお話しください。
- 環境調整**
- 相談者の同意の下で、修学・就労環境などを改善するために関係者に協力を求めます。ハラスメント相談センター長の判断により行われます。
- 緊急対応**
- 相談者の同意の下で、相談者の保護のために迅速な対応が必要である場合に関係部局長に協力を求めます。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。

- 通知**
- ハラスメントの相談を受け付けたことを相手方である構成員等に通知することがあります。ハラスメント防止対策委員長の判断により行われます。
- 申立て**
- 調停と調査があります。
 - ハラスメント相談センターは、相談者がハラスメント防止対策委員会へ申立てを行うサポートをします。

【名古屋大学 ハラスメント相談センター】

- 開室時間は月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00です。
 - 電話・FAX・Eメールによる相談の受け付けをします。
- 名古屋大学 ハラスメント相談センター
- 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 工学部7号館B棟2階
 TEL/052-789-5806 FAX/052-789-5968
 E-mail/h-help@adm.nagoya-u.ac.jp http://www.sh-help.provost.nagoya-u.ac.jp
- 鶴舞分室：毎週火曜日（祝日を除く）開室中
 - 大幸分室：第2・4木曜日（祝日を除く）開室中
- 詳しくは、HPをご確認ください。



教育推進部の窓

学生生活状況調査報告書(第26回)について

教育推進部学生支援課

学生生活状況調査は、本学の学生を対象に、経済生活及び学生生活全体をととした学生の動向を客観的に把握し、学生の福利厚生に役立たせるための基礎的な資料を得ることを目的として、1963年(昭和38年)に始まりました。以後、隔年毎に継続的にアンケート調査を実施し、アンケート実施の翌年度に、調査結果を取りまとめた「学生生活状況調査報告書」を作成発行しており、今年度で26回目を数えるに至りました。

調査項目については、調査開始当初は「経済状況」、「住居・食事」、「アルバイト」など経済生活に関する設問が中心でしたが、社会情勢の変化とともに学生のライフスタイルが変わり多様化してきたことに伴い、調査項目の見直しが行われ、現在では「大学生活」、「海外渡航・国際交流」、「心身の健康」、「ハラスメント」、「就職」などの項目が追加され、多岐にわたっています。

また、調査票には「大学に対する希望等」として自由記述欄が設けてありますが、今回も多種多様な意見・要望がありました。

設備・環境に関しては、大学として継続的に整備を行っているため、不満は少なくなっていますが、駐輪場やトイレの整備に対する意見が多く見られました。

福利厚生に関しては、学内食堂の満足度は徐々に高くなってはいるものの、メニューの工夫や価格、営業時間に関する事など、依然として食生活への要望が多かったです。

本調査で得られる結果は、学生支援に係る施策を検討する上で、貴重な参考資料となります。

学生のみならずにとっても、大学に対する意見・希望を述べる良い機会と捉え、今後とも本調査へのご協力をお願いします。

※「学生生活状況調査報告書」は各学部・研究科の教務学生関係窓口で閲覧できます。

また、名古屋大学ポータル(教育推進部からのお知らせ)に掲載します。

クラブ活動

弓道部

「弓道」は28m先の36cmの的に矢をあてる競技です。矢を真っすぐ飛ばすことが非常に難しいため、的のどこにあたって同じ点数です。そのため、的にあて続けることができれば負けることはありません。1本も外さなければ全国制覇できます。だからこそ、緊張に負けて外してしまった1本というのが悔しく、次の大会へのモチベーションにつながります。我々弓道部は、現在1年生から4年生まであわせて66名という大所帯で活動しています。近年は女子部員が増加傾向にあり、また、男子も年々戦力が充実してきており、今年度の結果としては、男子が名阪戦勝利、東国体優勝、女子がインカレ決勝トーナメント進出という状況です。現在は8月下旬から行われている秋季リーグ戦で2部リーグ昇格を果たすために全員一丸となって練習に取り組んでいます。応援よろしくをお願いします。



アマチュア無線研究会

私たちのサークルの主な活動はアマチュア無線による無線運用です。具体的には、「無線で」より多くの、より遠くにいる人と話をしたり、そのための専用機器の設置・調整を行ったりしています。さて、ここまでだと「なんかインドア系で地味で暗そうなサークルだな…」というイメージを持つかもしれませんが、実際は積極的に山などにアンテナや無線機を持ち込んで活動することも多いです。また、アマチュア無線の国内大会・世界大会に参加することもあります。そこではどれだけ多くの地域・無線局と交信できたのかを競います。また、無線だけでなく、電子工作やプログラミングなどコンピュータを使った様々な活動なども行っています。名古屋大学アマチュア無線研究会に興味を持った方は、当サークルのウェブサイトもぜひご覧ください!





伝言板

全学教育棟サブラボについて

教養教育院

全学教育棟サブラボ（A、B）は、情報メディア教育センターが学内各所に設置した情報メディア教育システムを利用することができるパソコンを配置したラボの一つで、全学教育棟の本館中央棟2階に設置されています。

○設備

◆ サブラボA

学生用パソコン104台（うち車椅子用2台）、教員用パソコン1台、プリンタ1台

◆ サブラボB

学生用パソコン28台、教員用パソコン1台、プリンタ1台

○開放期間

授業期間内（土曜・日曜・祝日、名大祭、年末年始、入学試験前日及び当日等は閉室）※夏季・冬季休業中の開放は、別途お知らせします。

○開放時間

講義を除く月曜日～金曜日午前8時45分～午後7時30分※午後4時30分から午後7時30分まではサービススタッフが在室します。

○その他

全学教育棟本館では講義室はもとより、学生ホール、セミナーラウンジ等において無線LANを使用することができますので、各自が持参したパソコンにより、情報メディア教育センターを経由してインターネットに接続が可能です。

教養教育院のホームページについて

教養教育院

教養教育院ではホームページを公開しています。全学教育科目の履修登録等に関する情報を「お知らせ」に随時掲載していますので、十分注意してください。また、「学内専用」（学内からのみアクセス可）では、授業アンケート結果を閲覧できます。

教養教育院のホームページ <http://www.ilas.nagoya-u.ac.jp>

授業料免除申請手続きについて

教育推進部学生支援課

経済的理由により授業料の納入が困難で、かつ、学業優秀と認められる場合又は、特別な事情（風水害等の災害を受けた場合等）により授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は、納入すべき授業料の全学または半額が免除されることがあります。

この制度の適用を受けるためには、授業料免除申請が必要となり、申請手続きは、原則として年1回の前期分・後期分同時申請で行っています。申請に関する手続き時期等の詳細については、各学部・研究科及び教養教育院に掲示でお知らせしますので、十分注意してください。

平成28年度日本学生支援機構奨学生の募集について

教育推進部学生支援課

日本学生支援機構の奨学生の募集については、春（3月中旬）に掲示等でお知らせします。奨学金貸与希望者は、所属学部・研究科及び教養教育院の掲示等に十分注意してください。

平成28年度民間奨学財団奨学生等の募集について

教育推進部学生支援課

民間奨学財団および地方公共団体の奨学金募集は、大学のホームページ <http://www.nagoya-u.ac.jp>（トップページ→教育／キャンパスライフ→各種免除制度・奨学支援→民間奨学財団奨学金・地方公共団体奨学金）で随時お知らせします。

募集は、前年度末から始まり、4月～5月に集中しています。学部が指定されるものもありますので、詳しくは各学部の掲示板に注意してください。

災害対策

南海トラフ地震の被害想定

10月の地震防災訓練では、大地震が起こったことを想定して室内での危険回避、建物外への避難と安全確認などを行いました。実際の災害では、家に帰ろうとした場合に交通機関の停止や停電などで移動が困難だったり、火災など危険な状況があり得ます。適切な行動のために災害の被害想定を理解しておきましょう。

◆ 大地震を引き起こす南海トラフ

南海トラフは太平洋の海底にあるプレートの境界で、駿河湾から紀伊半島沖を通して四国・九州の沖につながっています。ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの動きにより、約100年ごとに大きな地震を繰り返してきました。最近では約70年前に1944年（昭和19年）の東南海地震と1946年の南海地震が発生しています。過去最大の地震は1707年の宝永地震で、東海、東南海、南海の3地震が連動して、マグニチュード8.6程度だったとされています。この時はさらに49日後に富士山が噴火し、江戸を含めた広域で大災害になりました。

◆ 過去最大と理論上最大

東日本大震災を引き起こした地震は1000年に一度の規模といわれ、過去に起こった地震の経験に基づく防災対策は十分ではありませんでした。この教訓から、理論上は起こる可能性がある最大地震も想定するようになりました。南海トラフでもし起こればマグニチュード9以上で、東日本大震災と同等の巨大地震となり、しかも震源が陸に近いので揺れも津波もより大きい被害になります。このような過去最大と理論上最大の2段階の想定は、国や県、多くの市町村で行われています。まず過去最大を想定して十分な対策をし、もしそれを超える理論上最大地震があっても命は助かるような準備をする、という考え方になります。

◆ 巨大地震の被害の様子

理論上最大の巨大地震では港区などで震度7、名古屋港付近で津波高さ3～4mとなり、木造住宅は揺れて倒壊したり津波に流されます。愛知県内の全壊は火災も含めて約38万棟、死者は2万9千人。10棟に1棟は全壊し、250人に一人が亡くなることとなります。過去最大地震ではこの数分の一になりますが、それでも家族や友人まで考えれば決して他人ごとではありません。

生活に直結する被害についてはデータのある過去最大地震で考えると、断水は直後は95%、1週間後で50%、復旧に1か月以上。停電は数日は続き、発電所が被災すれば数か月にわたる可能性があります。道路や通信も、一定以上の被害になると復旧に時間がかかります。

◆ 一人一人の備えが大切

広域大災害になると医療機関は混雑しますので、けがをしないよう備えることが最重要です。食料、物資などの供給も滞りますので、日ごろの備蓄が生命線です。特に水や食料、医薬品などはまとめておくと購入・更新費用、管理・保管場所、被災時の配布などが大変になりますので、できるだけ個人や家族、研究室などで分散して用意することが必要です。

詳しくは減災連携研究センターおよび災害対策室のホームページなどをご覧ください。



伝言板(2)

自転車の盗難防止・走行上の注意について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック（ツーロック）にしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないとされています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役・50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

ゴミ出しマナーはルールを守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、種類毎に指定された曜日・場所に出すことになっています。

名古屋市内で単身で下宿生活を送っている学生は、地域の一人としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方（種類の分け方）が判らないときは、各区の環境事業所、又は町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

なお、学内に家庭ごみや粗大ごみを持ち込んで投棄することは、不法投棄ですので絶対行わないようにしてください。本学では、不法投棄を発見した場合、警察への通報などの対応を取っています。

メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(MyNU)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ ・インシデントに關する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請 ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に關する連絡